

10:30 お弁当を受け取り、出発!

登録のお弁当作成依頼店舗から、心を込めて作っていただいた人数分のお弁当を受け取り、出発します。

今回のお届け先は
水川・徳山・藤川方面



お食事処「さか希」



中野食堂



ある日のママ宅



行ってきます!

『ママ宅』ボランティア
 ㊦永野和美さん、㊦碧彩ちゃん
 『ママ宅』事務局
 ㊦芹澤あやみさん

10:40~11:45 お弁当をお届け!

「こんにちは〜!」と元気に声を掛けながらお弁当を手渡し、届けた日に丸印を付け、チェックします。



おいしいお弁当どうぞ!



届けた証に丸印を付けます



おいしいお弁当食べてね

お弁当お待たせしました〜

ママ宅メモ④

- ママが持つ“かぶ”はお弁当がすっぽり入るサイズで、子どもを連れて歩いても傾きにくい設計のママのアイディアと気遣いに脱帽です。

わあ〜大きなハ千の葉ですね〜



きれいならんですね

ママ宅メモ③

- ものすごく狭い道でもスムーズに運転して“配達”していることに驚かされます。



川根本町高齢者宅配サービス

届けるのはお弁当

だけじゃない

ママ宅が運ぶものとは

「こんにちはー。お弁当を届けにきましたよー」。元気な声でお宅を訪問し、お弁当を届けるママたち。

これは川根本町高齢者宅配サービス推進協議会(梶原俊介会長)が手掛ける『ママ宅』の「ママ。ママと小さな子どもの登場に、静かなお宅が打って変わり、和やかに会話の花が咲きます。

『ママ宅』とは、過疎・少子高齢化が進み、高齢化率が県内一高い本町において、お年寄りが抱える買い物などの不便を少しでも手助けしようと、地域のママさんが協力し合って宅配を行うサービスのことです。

お弁当を届けるだけでなく、ママさんたちが「元気だったー?」「この間は調子悪かったみたいだけど、最近はどう?」などと声掛けすることで「見守り」にもつながり、お年寄りの表情がにこやかにになります。お互いに会話を楽しくすることで幸せな時間が過ぎていきます。

ママ宅メモ①

ママ宅の仕組み

▼現在、A役場からの委託事業とママ宅「自主事業」の2種類があります。

- STEP1 紹介
 - A. 包括支援センターなど
 - B. ケアマネージャーや個人など
- STEP2 申込み
 - A. 商工会へ B. ママ宅事務局へ
- STEP3 調理
 - A. B. 登録の依頼店舗
- STEP4 お届け
 - A. B. ママ宅
- STEP5 利用者

ココに注目!



笑顔のやりとりがステキですね

ママ宅メモ② 利用者の声

- 神田よし子さん(藤川区=91歳)
- お父さんも車をやめてしまったので、出掛けるにも苦労しています。
- 『ママ宅』は暑い時も、寒い時も、届けてくれるので、本当に助かっています。
- ママと子どもに幸せな時間を届けてもらっていると思っています。



お弁当どうぞ!



うらやましいね~

きれいな景色ですね~